

政策評価制度部会における取組状況(平成29年度)

目標管理型評価ワーキング・グループ

＜開催状況等＞ 6/2(第8回)、8/4(勉強会)、8/21(勉強会)、10/25(第9回)

＜現在の検討状況＞

【ロジックモデル】

ロジックモデルは、施策の内容と効果をつなぐ論理を整理したものであり、評価を行う際に有用な情報を提供するものであるが、統一されたルールがなく、個別の施策の規模や属性に応じた検討が必要ではないか、等の観点から、各府省が試行的に作成したロジックモデル等をもとに、ロジックモデル作成の意義と留意点について検討。

【評価書の検証】

今年度作成された評価書について、対象を絞って検証を行うため、検証の観点(統計等データの利活用状況、分析の妥当性等)について検討。



＜今後の予定＞

改善方策としてロジックモデル作成の意義と留意点等を取りまとめ、各府省への横展開・普及を図る

規制評価ワーキング・グループ

＜開催状況等＞ 7/6(第13回)※持ち回り開催

＜現在の検討状況＞

- 制度改正施行(10月1日)後に提出された評価書を分析(評価書提出件数 6件)
- 簡素化した評価手法の事前相談
- 来年1月を目途にWGを開催し、各府省における改善方策に基づく評価の実施状況を審議予定

公共事業評価ワーキング・グループ

＜開催状況等＞ 5/16(第6回)、7/3(第7回)、10/23(第8回)、12月(第9回)・2月(第10回)予定

＜現在の検討状況＞

- 28年度における「中間取りまとめ～完了後の事後評価の効果的な活用とその推進」(29年3月6日決定)を踏まえ、改善方策の最終取りまとめに向け、審議を重ねているところ。
- 今後、完了後の事後評価に独自に取り組んでいる地方公共団体の実施状況の委員視察も予定。
- また、29年度点検活動については、各行政機関が行った事前評価及び再評価(9事業区分21件)について、現地調査機能(管区行政評価局)を活用して情報収集を実施した結果を踏まえ、事業区分間比較分析等を通じ、より効果的な評価手法の検討を行うことにしている。



＜今後の予定＞

完了後の事後評価に関する改善方策の最終取りまとめ